

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	963 社会福祉一般事務経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本施策	03 高齢者などを地域や集落で支える環境をつくる	目	01	社会福祉総務費
		細目	183	社会福祉一般事務経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	社会福祉一般事務経費
担当部課	コード	603000		担当者氏名
	名称	島ヶ原支所住民福祉課		
		前出	公子	連絡先
				59 - 2163 (内線) 34

**事務事業の概要 (Plan)**

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の犯罪予防及び更生保護活動を行うことにより、明るく住みよい地域社会になる。</li> <li>・社会福祉に対する意識が向上することにより、市民の地域福祉活動が活性化される。</li> </ul>	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を明るくする運動を実施する保護司及び更生保護女性の会の事務支援を行う。</li> <li>(愛の更生資金の募金活動、社会を明るくする運動実施委員会への参加、啓発パレードの実施)</li> <li>・地域福祉に対する一般事務</li> </ul>	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	愛の資金募金	回	目標	1	目標	1
			実績	1	実績	1
	社明啓発街宣パレード	回	目標	2	目標	1
			実績	2	実績	2

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	社明啓発街宣パレード	市民の意識醸成のためには啓発パレードが有効	回	目標	2	目標	1
				実績	2	実績	2
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	120	72		75		75		
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	120	72		75		75		
事業投入人件費 (B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	
フルコスト(A)+(B)	1,560	1,512		1,515		1,515		

**事務事業の評価 (Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○	
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <b>100%</b> 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	社明啓発パレードについては、旧上野市と旧郡部を分けているが、これを統一し効率よく市内を街宣できるようにする。
昨年度の取組状況	<b>【状況】</b> <b>計画のとおり進んでいる</b> <b>【詳細】</b> 「第59回社会を明るくする運動」強調月間に伴う広報パレードを行い、地区委員連絡協議会で「愛の資金」募金活動への協力依頼をし、啓発活動を行なった。

**今後の方向性 (Action)**

担当課長氏名	川口 正仁
事業の方向性	<b>【方向性】</b> <b>現状維持</b> <b>【理由】</b> 社会環境の変化に伴い、犯罪抑止活動は複雑多岐にわたっている。今後も保護司、更生保護女性の会の活動支援が重要となることから、現状維持とした。
現時点における課題、その他	市民には社会を明るくする運動が浸透していない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	社会を明るくする運動パレードや地元夏まつり等を通じ啓発をおこなう。